

地口あんどん後世に 旧街道で謎解きイベント

千住3商店街

足立区・千住の旧日
光街道に沿った商店街
(①千住本町商店街振
興組合②北千住サンロ
ード商店街振興組合③
サンロード宿場通り商
店街)で9月1日から
11月30日まで、ファミ
リ層を対象にした街
歩きイベント「地口あ
んどんの謎を解け」
が行われた。

千住地域の街並みや
文化を守りつつ、新た
な魅力を再発見しよう
と「千住いえまち」
では地口あんどん10
0個を3商店街の街路
灯や店の軒先に取り付
ける街づくりのプロジ
ェクトを進めている。

この伝統を千住らし
い景観として子供たち
に伝え、街への誇りと
愛着を育んでもらう
と、千住いえまち



謎カードが置かれた地口あんどん



街路灯が点灯し始めた夕暮れの商店街

「千住いえまち」に
協力する千住本町商店
街の鈴木健嗣理事長
は、千住生まれ千住育
ち。「街はどんどん
あつたつたに変わっ
ていくが、地口あんど
んという昔からの文化
もある。これを無くさ
ないようにするため
にも、こういう活動が必
要だと思う」と、地域
を盛り上げようと奮闘
する若手らに期待を寄
せていた。

十条5商店街

バルでまるっと

大衆演劇も新メニューに

2022年の第17回
東京商店街クラブリ
で大賞に輝いた「十
まるっとバル」が、今
年も11月15・16日に開
催された。

北区のJR十条駅周
辺に広がる五つの商店
街振興組合(つくっ
た実行委員会)の主催。
12の初参加店舗を含
む46店が飲食の「ま
まるっとバル」、物販・小売の
「みやバル」、サービ
スなどの「体験バル」
などの「体験バル」



篠原演舞場におこなった「体験バル」

多彩なメニューを提
供。チケットは800
円5枚綴り(当日は9
00円5枚綴り)で、
昼時でも使えるメニ
ュー展開が特徴だ。
今回は「体験」バル
に、十条中央商店街に
加わる篠原演舞場
の舞踊「ヨロシロ」も
加わり、エンターテ
ィメント性もアップ。
バル参加は演舞場側
の立候補で、「大衆演
劇」というコンテンツで
街や地域がにぎやかに
なっていくという
意向からという。

十条駅前では再開
業ビルが来年竣工す
るため工事が進んで
おり、市街地再開発
と共同で街のにぎわ
いをつくらんと、特別
に「おしろいパレード
」と、地元在住の若手
語家による「おしろ
いパレード」も実施
した。

「パレード」は午後
3時から、演舞場の劇
団員たちがちゃんま
じにスーツ、花魁、よ
こい衣装風など個性
豊かに扮装。2日間で
400人、十条銀座の
通りを練り歩き、劇

SDGsを知ろう

持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)は17のゴールと169のターゲットで構成されています

ゴール17 パートナースhipで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けて実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化させる

SDGsのゴールについては、国や自治体だけが取り組んでも決して達成することができません。一人ひとりがSDGsについて理解し、行動に移す必要があります。

日本でも昨今いろいろなところでSDGsを耳にする機会が増え認知度は上がっていますが、実際に行動しているかという、「既に取り組んでいる」という回答は12.9%となっており、「SDGs」という言葉を知っていても行動に移せている人は少ない、ということが課題です。

《ゴール17には19個のターゲットがあります》

- 17.01 開発途上国を支援し、すべての国の財政力を上げよう
- 17.02 先進国はODAに関する協約を実施しよう
- 17.03 開発途上国を支援するための資金源をもっと増やそう
- 17.04 開発途上国が借金を返せるように支援しよう
- 17.05 後発開発途上国にお金が集まるしくみをつくらう
- 17.06 科学技術やその知識を、抱え込まずに共有しよう
- 17.07 開発途上国に、環境破壊せずに発展できる技術を
- 17.08 ICTを活用して、後発開発途上国の科学技術を強化しよう
- 17.09 SDGs達成のために、効果的な支援を開発途上国に
- 17.10 WTOのもとで、公平で開かれた貿易体制を
- 17.11 開発途上国による輸出を大幅に増やそう
- 17.12 後発開発途上国による輸出に、優遇措置を設けよう
- 17.13 すべての国が協力して、世界経済を安定させよう
- 17.14 SDGs達成のために、一貫性のある政策を
- 17.15 SDGs達成のために、国ごとのやり方を尊重しよう
- 17.16 多種多様なパートナーシップで、SDGsを推進しよう
- 17.17 その際、最も効果的なパートナーシップをみつけ、推進しよう
- 17.18 開発途上国の状況をデータで把握できるように支援しよう
- 17.19 人類の進歩を測定できる、GDP以外の尺度を開発しよう

*都振連発行『商店街のためのSDGs入門』より



表参道をパレード

ハロウィーンの仮装で

各地でハロウィーン
のイベントが開かれる
中、商店街振興組合原
宿表参道(表参道)は
10月29日(今年で39
回目)の「パンフィン
レード」を行った。パ
レードを行ったイベ
ントだ。

近隣の小学校、幼稚
園、保育園から招待し
た約450人と、事前
に販売した参加証を購
入した約950人の子
供たちが、保護者も含
めると総勢約3500
人でパレードした。

一行は神宮前小学校
に集合し、午後1時ス
タート。約1時間半か
けて、表参道ヒルスの
前まで目下歩くこと
のできない車道を思い
思いの恰好で歩き、沿
道の見物客らに手を振
ったりしてアピールし
ていた。

この日は、下リック
オートリットを合言
葉に、協力店舗へ行く
とお菓子がもらえるラ
リーや、10月1日から
29日までの間に協力し
たリストを持って行
くと「特製ガチャ」が
もらえる抽選会なども開
催された。

観光の障害解消を

都来春からの法対応学ぶ

障害者や高齢者など
誰もが快適に観光でき
る東京にしようと、都
が「アクセシブル・ツ
ーリズム推進 業別別
WEBセミナー」を12
月に3回行う。14日午
後2〜4時の回が飲食
・小売関連事業者向け
の内容だ。

改正障害者差別解消
法が2024年4月に
施行され、民間事業者
にも「合理的配慮の提
供が義務化される。
同法は、例えば障害
者の入店を断る、家族
の同伴を条件にするな
い、障害のない人には
しない「差別的取り扱い
」を禁止している。
今後さらに、例え
ば目が見えない人が来
店した際には売り場へ
案内する、耳の聞こえ
ない人とは話さずなど
も、求められたら過度
な負担でない限り柔軟
に対応することが「合
理的配慮の提供」とし
て必要になる。

セミナーでは専門家
らから、事業者側では今
後どんな対応が必要に
なるのか、法律や対応
指針について具体的に
解説するとともに、飲
食・小売サービス提供
におけるケーススタ
ディを行う。

定員は50人。参加費
は無料。Zoomかユ
ーチューブライブで受
講する。申し込みはフ
ォーム(Q
Rコード)
から。

観光経営力

セミナーも

都と東京観光財団は
来年1月23日午後2時
6時、観光経営力強化
セミナーを神田明神文
化交流館EDOCO
地下ホールで開く。
観光需要が急速に回
復する中、「経営改善
につながるデータ活
用」(安定と成長を両立
させる価値戦略と顧客
戦略の融合)などにつ
いて講演がある。東京
観光産業ワンストップ
支援センターの事業説
明会と交流会もある。
都内の観光産業に関
わる人なら、飲食業や
小売業も対象。
定員は来場100
人、オンライン100
人。参加費は無料。
参加登録はQRコー
ドから、1
月16日まで

令和5年度 商店街ステップアップ応援事業

商店街の活性化サポートします!

派遣費用 無料

たとえば
下記のような相談に対して
支援・アドバイスいたします

- 売上アップやにぎわい増につながるイベント
- 商店街の会計処理・補助金などの資金周り
- キャッシュレス・ホームページ導入などIT化
- 多言語化・おもてなしなどインバウンド対応
- 障がい者・高齢者用サイン表示や休憩スペースの設置
- 加入促進・若手の活躍など組織運営
- 商店街の中長期的なありかた・ビジョン
- 来街者に安心・安全な商店街づくり
- 地域と連携した、街の活性化への景観づくり
- 再エネ・省エネ

支援のながれ

お申し込み → 事前打ち合わせ → 日程調整 専門家手配 → 専門家による 支援の実施

WEBにてご案内

専門家の派遣は一つの相談に対して原則5回、最大10回までです。

随時受け付け中 → 東京都商店街振興組合連合会/ステップアップ事務局 ☎03-3547-3787